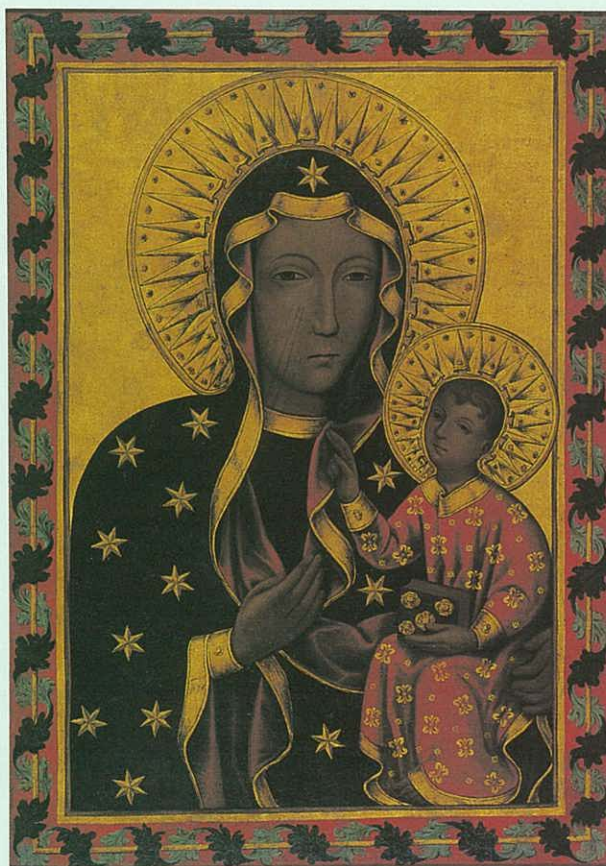


2014年3月20日

玉川大學教育博物館



目次

| | |
|------------------------------|---|
| 展覧会への招待…………… | 2 |
| 資料保存の取り組み・ 資料をご寄贈いただきました… | 3 |
| 報告…………… | 4 |
| 学内連携の教育活動…………… | 5 |
| 開館カレンダー・ 利用案内…………… | 6 |

聖母子像

作者不詳 シエナ派

キャンバスに油彩 138.5 × 97.0cm 15世紀

シエナ派は、13世紀から14世紀にかけて興盛した画派で、フィレンツェ派と同様に、当時のイタリア美術を代表する画派として知られています。フィレンツェ派の合理的、写実的な造形性に対し、シエナ派は情緒的な装飾性が特徴です。作品にはビザンティン的伝統の表現様式が加わり、優雅で荘厳な聖像を形成しています。聖母マリアが左手で幼児イエスを抱き、幼児は右手をあげて祝福し、左手で聖なる書（あるいは巻物）をもつ図像は、ホディギトリア型の聖母子像と呼ばれています。

展覧会への招待 玉川学園創立 85 周年記念特別展 東と西のキリスト教美術—イコン・西欧絵画コレクションから

キリスト教の絵画には正教の世界にある伝統的なイコンと西欧の美術としての聖画があります。2014 年度は玉川学園創立 85 周年を記念した特別展として、当館所蔵の美術資料の中から、東方正教会のイコンと西欧の宗教画を紹介いたします。

玉川学園では、教育の理想として真・善・美・聖の四つの絶対価値の追求を掲げ、調和ある人格の陶冶をめざす全人教育を実践し、学問・道徳・芸術教育とともに宗教教育を重視しています。この宗教教育は、キリスト教精神に基づいてはいますが、一宗一派にとらわれることなく、神という絶対者をおそれ、神を敬愛する心を養うことを目的としてきました。当館のイコンおよび西欧絵画のコレクションは、このような本学の教育活動に資するため、創立 50 周年記念事業（1979 年）の一環として収集がはじまり、現在 71 点のイコンと西欧絵画 13 点を所蔵するに至りました。

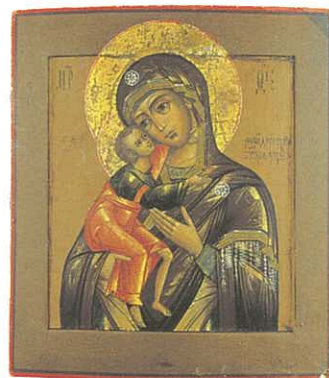
イコンは、ビザンティン美術の一流として発達しました。8 世紀のイコノクラスム（聖像破壊）の受難を経たのち、11 世紀頃からのイコン崇拜の高まりとともに、板にテンペラ技法を用いたイコンがロシアやそのほかの東方正教会圏に広まっていきました。テンペラ技法は、顔料を卵黄で溶いて絵具としたもので、乾きが速く、発色が良い耐久性のある画面をつくることができます。

一方、西欧では 4 世紀にキリスト教が公認されて以降、宗教的な中世美術の時代を経て、聖書や宗教的な逸話をモチーフにした宗教画が多く画家によって描かれました。15 世紀からは顔料を油で練り合わせた絵具を用いる油彩画の技法や写実的な表現が主流となり、より人間的なキリストや聖母、聖人が描かれるようになりました。

展示では、東方正教会のイコンと西欧絵画と比較することで、それぞれのもつ美と特性をより深く理解できる展示空間をつくります。

なお、この展示会は展示スペースの都合により、会期を前期後期の 2 期に分けて開催いたします。皆さまのご来館をお待ちいたしております。

(柿崎博孝)



フェオドロフスカヤの聖母
ロシア・イコン 板にテンペラ
35.5 × 31.0cm 19 世紀



観想の聖母マリア
カルロ・ドルチの工房 キャンバスに
油彩 126.0 × 104.0cm 17 世紀後半

- ◆会 期 前期 2014 年 11 月 3 日～12 月 7 日 ※休館日等の詳細は次号でお知らせします。
(聖三位一体／キリスト誕生まで／キリストの生涯と復活／聖母マリヤなど)
- 後期 2014 年 12 月 13 日～2015 年 1 月 25 日
(キリスト像／聖母子像／祝祭のイコン／天使と聖人たち／最後の審判など)
- ◆時 間 9:00～17:00 (入館は閉館の 30 分前まで) 入館無料

資料保存の取り組み

くんじょう 収蔵庫の燻蒸消毒

当館では、2013年末の休暇の期間を利用して、資料とそれを収める収蔵庫のガスによる燻蒸消毒を、4年ぶりに実施しました。燻蒸については、本誌前号の「質問です」のコーナーで取り上げましたが、それを実行したことになります。事前に館内の環境調査を行ったところ、収蔵庫内で資料を食い荒らす害虫が捕獲されました。博物館にとって、こうした状況は名誉なことではありませんが、緑豊かな自然環境の中にある博物館のため、わずかな隙間から侵入してきたようです。

消毒には殺虫殺菌効果を持ち、また引火性のある薬剤ガス（酸化プロピレン）を使用するため、害虫やカビが活発に動く時期ではありませんが、学校現場にある博物館として児童・生徒・学生や教職員の安全を最優先に考え、冬休み中の燻蒸実施となりました。

事前の準備として、薬剤ガスの浸透・排気を効率的に行うため、資料保存箱の蓋等はすべて開けておいてから、専門の業者に委託し、概ね次のような手順で作業を進めました。まずガスを入れる範囲に目張りをして密閉空間を作ります。ガスの仮貯蔵・使用状況について所轄消防署の立会確認を受け、博物館内及び隣接する校舎の一定範囲を立入禁止にした上で薬剤ガスを入れていきます。収蔵庫内のガスの濃度が一定水準に達すると、48時間これを維持させます。その後活性炭でガスを吸着させながら排気を開始し、4日間強制換気をして新鮮な空気に入れ替えます。最後にガス濃度の測定を行い、ガスが残留していないことを確認し、立入禁止措置を解除します。

今回の燻蒸消毒で、害虫やカビが死滅し、収蔵庫内の環境をリセットできました。今後はこの状態を極力維持し、博物館内に有害生物を入り込ませないように努めていきたいと思っています。

(菅野和郎)



酸化プロピレンガス投薬装置



効率的排気のため箱類の蓋は開けておく

資料をご寄贈いただきました (順不同・敬称略 2013年8月～2014年1月)

| | |
|-------------------------------|---------------------|
| 麻田 平蔵 同窓会報 1点 | 首藤 元男 同窓会報 1点 |
| 田中 猛 玉川学園史資料 38点 | 建国大学同窓会 教育史関係資料 48件 |
| 深掘 元七 同窓会報 4点 | 二階堂 博 同窓会報 7点 |
| 藤沢 俊雄 同窓会報 1点 | 河合 明博 同窓会報等 4点 |
| 黒萩 泰弘 同窓会報 2点 | 長野 良一 同窓会報等 99点 |
| 高橋 健男 教育史関係資料 1点 | 伊藤 禮子 同窓会報 9点 |
| 野間 輝一 同窓会報 1点 | 国立台湾図書館 教育史関係資料 5点 |
| 高尾 宣子 中島千波作「日和麗麗孔雀の図」リトグラフ 1点 | |
| 韓国独立運動研究所 教育史関係資料 2点 | |

ありがとうございました

報 告

企画展

企画展「ミュージアム・コレクション展 2013 近世教育者の肖像」を2013年11月4日から12月13日まで開催しました。資料保護の面から、あまり長い会期を設定できませんでしたが、のべ34日間で567名の入館者がありました。会期中に3回、肖像画の主や画家のエピソードなどを交えながら、主要な展示資料について本展担当者が解説を行う、ギャラリートークを開催しました。なお、本展の図録(64頁)を制作し、1,000円で販売しています。



防災訓練

学内外から不特定多数の見学のお客様をお迎えする博物館では、万一の災害発生時に、お客様を迅速確実に安全な場所に避難誘導しなければなりません。また貴重な資料や施設への被害を、最小限に食い止めることも必要です。そこで大規模地震や火災



等の発生を想定した防災訓練を年に数回実施し、防災体制や緊急時対応の確認・見直し、各種防災用器具の操作法習得の機会にしています。最近では、2014年1月14日に火災を想定した防災訓練を実施しました。

博物館実習

通信教育部「学芸員スクーリング」44名
2014年2月7日～12日

資料の貸し出し

- ・城西国際大学水田美術館(千葉)「明治の子どもたち—版画に見る遊びと教育」(11/12～12/7)
「第二連語図」等 7点
- ・坂の上の雲ミュージアム(愛媛)「テーマ展示 近代国家制度の形成1 明治の教育 子規・真之と小学校」(2/25～15 2/15)
「第一単語図」等 21点

人の動き

2014年1月1日付で大西珠枝教授が採用され、兼ねて館長に任命されました。

小原芳明文学部教授(学長・理事長)の館長事務取扱は、2013年12月31日付で解かれました。

統計(2013年4月～9月)

本館

開館日数 120日 入館者数 2407名

収集

| | | |
|---------|--------|-------|
| 〔資料〕 | 日本教育史 | 79件 |
| | 玉川学園史 | 1件 |
| | 民俗 | 2件 |
| 〔図書〕 | 和書 55冊 | 洋書 0冊 |
| 〔定期刊行物〕 | 和雑誌 | 32冊 |
| | 洋雑誌 | 14冊 |

分室

| | | | |
|-----|--------|------|-----|
| 利用者 | 0名 | 資料提供 | 0件 |
| 収集 | 玉川学園関係 | | 68件 |

学内連携の教育活動 縄文土器の見学

玉川学園の構内及び周辺には、縄文時代の遺跡が多数存在しており、当館では、そのうち数ヶ所の遺跡より出土した考古資料を、所蔵・展示しています。かつて大学生・高校生らが中心になって活動していた、玉川学園考古学研究会が発掘調査した資料などです。これらの資料を、玉川学園低学年（小学部）4年生の児童たちが、クラスごとに見学に来てくれました。「大昔の暮らし」を学ぶ社会科の時間を使った、実物の縄文土器の見学でしたが、美術（図画工作）科でも社会科に並行して、各自で縄文土器を制作するという課題に取り組んでおり、そのためのモデル探しも兼ねているとのことでした。

見学に先立って物差しを目盛を使い、10歳という自分たちの年齢を1mmとしたとき、展示してある土器が製作・使用された縄文時代とはどれくらい前の時代で、また1m = 1万年以上も長く続いたということをも具体的にイメージしてもらいました。その後、子どもたちは展示されている土器の中から各自の気に入った1点について、ノートにスケッチをし、気が付いたことなどをメモしていきます。学芸員からは、器形ごとに土器がどのような用途であったか、土器をどのように作ったかや、縄文土器といっても、縄文以外のさまざまな文様が施されていることなどを解説しました。その際に、熱心にいくつもの疑問をぶつけてくる児童も複数いました。

展示している土器はいずれも縄文時代中期の資料であるため、それとは別に所蔵資料の中から、縄文時代早期から晩期にわたる各期の土器、最大・最小の土器、他の地域の土器等を用意し、比較できるようにしました。また、土器は壊れやすい資料ですが、せっかくの機会ですので持ち運び方の注意をよく聞いてもらった上で、実際に子どもたちに手に取ってもらうことにしました。これは、土器の形や文様をより間近に見てもらうほか、ガラス越しの見学では把握しづらい土器の厚み、重さや手触り、内側の状態などを観察・



玉川学園構内の遺跡出土の土器をスケッチする



縄文土器を手にして質感等を確認する

体感してもらい、縄文土器の魅力をより深く感じてもらうとともに、これから取り組む土器作りに活かしてもらおうと考えたからです。玉川学園の教育においては、創立期以来、ホンモノを見る、体験することに基づく喜び、驚き、感動を通した学びを大切にする伝統があります。今回の土器の見学も、その一端をなすものです。児童たちは、はやる気持ちを抑えつつ順番に土器を持ち比べ、友人と感想を述べあっていました。その際学芸員から、「君たちは今、土器を通して縄文人と握手をしているんだよ」とも言い添えましたが、そこからどのようなイメージをつかんでもらえたでしょうか。

今回の経験などを通して、大昔の暮らしにより興味をもち、また将来こうした文化財の保護に関心を抱いてくれる子どもが、1人でも多くなることを期待したいと思います。

（菅野和郎）

2014年度上半期 開館カレンダー

2014年 4月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | | | |

5月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

6月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | | | | | |

7月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

8月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

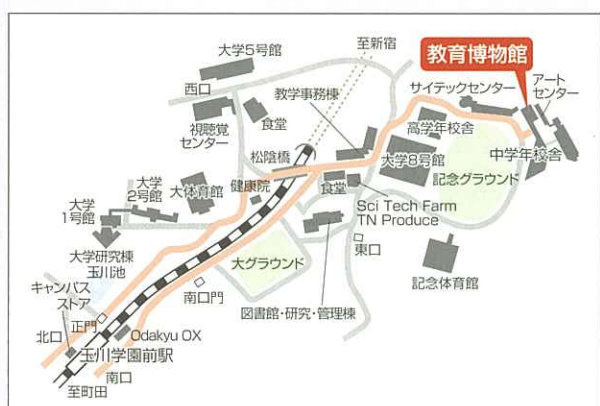
9月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | | | | |

■ 休館日

■ 第1展示室(日本教育史常設展示)のみ公開

※この予定は、大学授業・行事日程、電力事情等により変更することがあります。
 詳細は当館ホームページをご覧ください。電話等にてお問い合わせください。



利用案内

- 開館時間** 午前9時～午後5時
 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日** 日曜日・土曜日・祝休日・玉川大学の定める休日・展示替期間
 (日曜日・土曜日及び祝休日に大学の通常授業や学校行事が行われる場合、当館も臨時に開館することがあります。詳細はお問い合わせください。)
- 入館料** 無料

交通手段

小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩15分
 駅南口を出て、線路沿いの道を新宿方向に進むと、玉川学園の校門(南口)に行き当たります。博物館の建物の位置は、校門の案内所でお尋ね下さい。
 (来館者用駐車場はありません。また校内での園児・児童・生徒・学生の安全のため、お車での来館はご遠慮下さい。)

博物館ニュース SHŪ No.42

2014年3月20日

編集・発行 玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

TEL 042-739-8656 FAX 042-739-8654

www.tamagawa.jp/campus/museum/

『SHŪ』とは『集』、さまざまな「集められたもの」をめぐり、多くの人々の「集いの場」になることを目指して名づけたものです。